

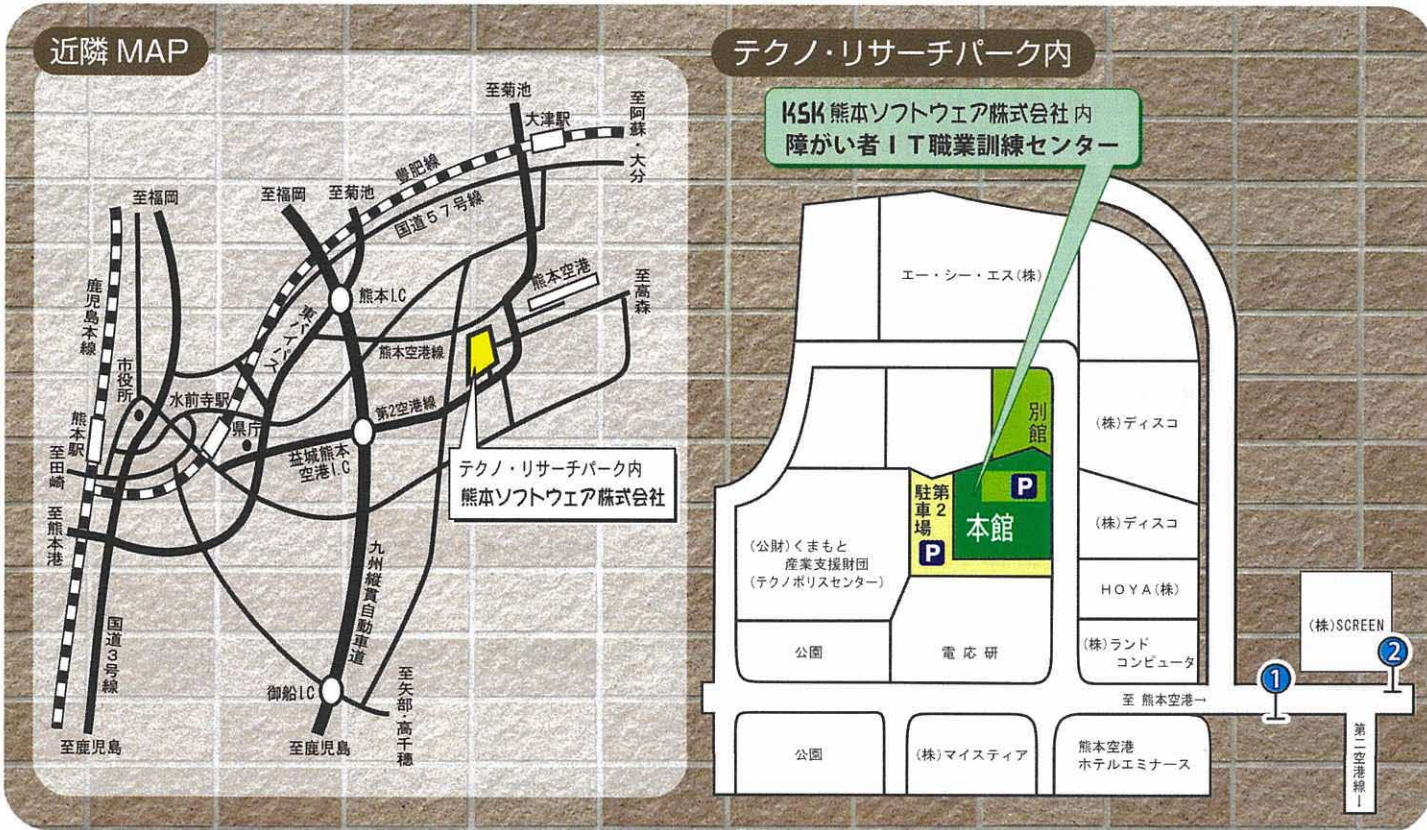
障がい者 I T 職業訓練センター 概要

障がい者 I T 職業訓練センターは、熊本ソフトウェア株式会社が平成 7 年 4 月にソフトウェア技術者を育成するセンターとして開設し、平成 30 年 4 月からはダイバーシティ (多様性) の実現に寄与するため、精神・発達障がいの方も受入れを始めました。

当センターでは熊本県立高等技術専門校の委託により、実務に即した情報処理業務従事者養成のためのカリキュラムや、ICT (情報通信技術) や IoT (Internet of Things) 技術、通信ネットワークおよび情報セキュリティなどの最新技術習得など、常に先を見通した訓練を実施しています。

また、「熊本県障がい者技能競技大会」に毎年出場し、各部門において優秀な成績を収めています。

障がい者 I T 職業訓練センター (熊本ソフトウェア株式会社内)



<交通アクセス>

- 熊本 IC から 12km (車で 20 分)
- 益城熊本空港 IC から 8km (車で 15 分)

<公共交通手段>

- 産交バス (路線バス)
 - 1 くまもとエミナーズ前停留所下車 (徒歩 5 分)
- 産交バス (空港リムジンバス)
 - 2 テクノ団地入り口停留所下車 (徒歩 10 分)

連絡先

※見学は随時受け付けております。お気軽にご連絡下さい。

熊本県立高等技術専門校

〒861-4108
 熊本県熊本市南区幸田1丁目4番1号
 TEL: 096-378-0121
 FAX: 096-378-0122
 e-mail:
kumamotokoukun28@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県立高等技術専門校

検索

障がい者 I T 職業訓練センター

熊本ソフトウェア株式会社内

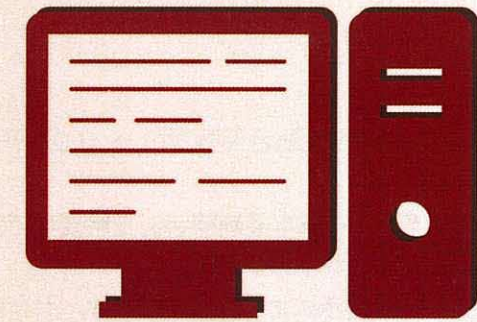
〒861-2202
 熊本県上益城郡益城町田原 2081-28
 TEL: 096-289-2100
 FAX: 096-287-2019
 e-mail: training@kmt-ics.co.jp
<https://www.kmt-ics.co.jp/training/>

この案内は、訓練生が Adobe Illustrator を使用して作成しました。

令和 6 年度 障がい者 I T 職業訓練 訓練生募集案内

第1回 令和5年
試験 10月24日・25日

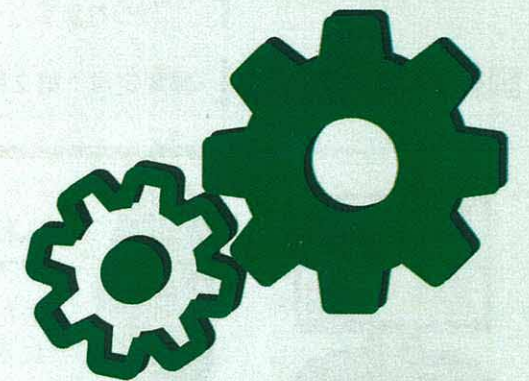
第2回 令和6年
試験 2月6日・7日



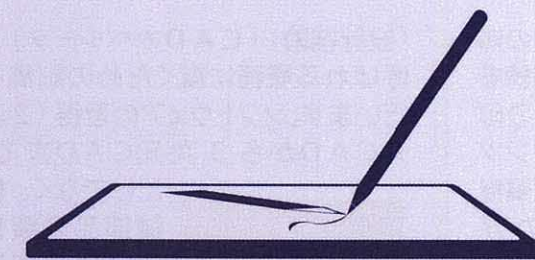
プログラミング

PHP
 VBA
 Java
 Access
 Python

2DCAD
 3DCAD
 CATIA
 Jw_cad
 AutoCAD



CAD



デジタルデザイン

動画
 DTP
 HTML/CSS
 Illustrator
 Photoshop

熊本県立高等技術専門校

■ 訓練場所

熊本ソフトウェア株式会社内
障がい者IT職業訓練センター

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原 2081-28
TEL 096-289-2100 / FAX 096-287-2019
電子メール training@kmt-ics.co.jp

熊本県立高等技術専門校が、
熊本ソフトウェア株式会社に委託して実施

*当センターは、全館バリアフリー（障害者用トイレ有）
となっています。
*寮や宿舍等の施設はありません。

■ 訓練期間

毎年4月入校から2年間

■ 訓練日・時間

訓練日：毎週月曜日から金曜日（ただし、祝日、年末年始、春・夏季休暇を除く）
訓練時間：午前9時から午後5時まで 7時限（1時限は50分・昼休み60分）

■ 応募資格

身体障害者手帳または精神障害者保健福祉手帳を所持し、公共職業安定所（ハローワーク）に求職の申し込みをした方で、次のいずれにも該当する方とします。

- ① 高等学校卒業と同等以上*の能力を有すること。（卒業見込みを含む）
*同等以上とは学校教育法施行規則第150条に該当する方。
- ② 就職の意志を有する方で、職業自立が可能であること。
- ③ 情報処理技術者として能力開発が見込まれる方。
- ④ 障がいの症状が固定し、伝染性疾患がない方。
- ⑤ 特別な介助を必要としない方。
- ⑥ 他の訓練生と協調性を保ち、集団行動がとれる方。

■ 所要経費と特典

- ① 入学金、受講料等は不要です。
ただし、教材等約20,000円（年間）及び訓練生総合保険約16,000円（2年分）が自己負担となります。
- ② 訓練手当での支給が受けられる場合があります。（熊本県訓練手当支給要項で定める一定の要件を満たす人に対し、熊本県の予算範囲内で支給されます）
- ③ 雇用保険受給者で、公共職業安定所長の受講指示により入校した人は、引き続き訓練修了まで失業給付制度があります。
- ④ 公共職業安定所（ハローワーク）との連携のもと、就職相談が実施され、就職の斡旋が受けられます。

■ 訓練科目・定員

募集定員：第2種情報処理系訓練 システム設計科 10名



基礎訓練

入校当初は、コンピュータに関する基礎知識やパソコン活用業務で利用するソフトウェアの基本実習を行います。

また、応用実践訓練で実施する、ソフトウェア開発やデザイン制作、図面設計に不可欠な専門的な技能習得に必要な基本実習も実施します。

応用実践訓練

アプリケーション開発

「プログラマー」「システムエンジニア」と呼ばれる職種に就くための訓練を行います。情報処理に必要なプログラミング技術だけでなく、IoTや



RPAなどネットワーク技術を活用したシステム開発全般の技能習得を目指します。

デジタルデザイン制作

DTPやWeb等のデザイン制作の知識と技術を身に付けるための訓練を行います。ポスターやチラシ等の印刷物、ホームページ等のコンテンツ



制作、動画編集等を行いながら、デジタルデザイン制作に必要な知識と技術習得を目指します。

CAD設計

「設計補助」「CADオペレータ」と呼ばれる職種に就くための訓練を行います。ソフトウェアの習得（2次元CADから3次元CADまで）



だけでなく、機械部品の製作に必要な製図知識などの技術習得を目指します。

■ 応募手続（※募集は2回に分けて行います。）

	日程	内容
1. 相談	随時	最寄りの公共職業安定所（ハローワーク）で相談してください。
2. 応募受付	<p>◆ 第1回募集（5名程度） 令和5年 9月 1日（金） ？ 令和5年10月10日（火）</p> <p>◆ 第2回募集（5名程度） 令和5年12月 1日（金） ？ 令和6年 1月15日（月）</p> <p><small>※第1回の合格者が定員に満たない場合は、第2回の募集に繰り越します。</small></p>	<p>入校を希望される場合、公共職業安定所（ハローワーク）に以下の書類を提出してください。</p> <p>[提出書類]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎入校願 ◎新規学卒者は調査書または成績証明書 ◎既卒者は履歴書及び調査書または成績証明書、所定の年数が経過している場合は卒業証明書 ◎身体障害者手帳または精神障害者保健福祉手帳の写し ◎医師の意見書（精神障害者保健福祉手帳所持者のみ） ◎受験票など返信用封筒（長形3号230×120mm・84円切手貼付） <p>注）入校願・履歴書は公共職業安定所に準備してあります。</p>
3. 選考試験	<p>◆ 第1回試験 令和5年10月24日（火） 25日（水）</p> <p>◆ 第2回試験 令和6年 2月 6日（火） 7日（水）</p> <p>両日程 午前8:40 受付 午前9:00 選考開始</p>	<p>第1回、第2回 両日程とも</p> <p>会場：障がい者IT職業訓練センター</p> <p>1日目：記述式試験（国語・数学） グループディスカッション、作文</p> <p>2日目：面接</p> <p>☆当日持参するもの：筆記用具、その他各自必要とするもの</p>
4. 合格発表	<p>◆ 第1回合格発表 令和5年11月10日（金） 午前9:00</p> <p>◆ 第2回合格発表 令和6年 2月20日（火） 午前9:00</p>	<p>合格者の受験番号を、熊本県立高等技術専門校のホームページに掲載し、併せて本校玄関前に掲示します。</p> <p>また、受験者全員に文書で通知します。</p> <p>合格者には後日、健康診断書を提出していただきます。</p>
5. 入校日	令和 6年 4月10日（水）	障がい者IT職業訓練センターにて入校式を行います。

■ 試験結果の情報提供について

この試験の結果については、以下のとおり情報の提供を求めることができます。

受験者本人が①受験票又は合格通知書及び②本人であることを証明する書類（運転免許証、旅券等）を持参のうえ、提供可能期間中の午前8時30分から午後5時15分までの間に直接提供場所へお越しください。ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律により休日とされる日は受付をすることができません。

また、電話、メール、郵便等による提供の求めに対しても対応できません。

提供を求められることができる人	提供する内容	提供可能期間	提供場所
受験者本人	総合順位及び総合得点	合格発表の日から1か月間	熊本県立高等技術専門校

訓練生の声



入校前は年齢が気になったり、IT知識の乏しさに不安を感じたりしました。しかし、基礎訓練から受けられると知り、安心して入校できました。訓練では解らない点をそのつど丁寧に教えてもらえるので、就職に迷われている方にこそ、将来のために是非受講してもらいたいセンターです。



進路に迷っているときに学校から紹介され入校しました。デザインやCAD、プログラミングなど様々な分野への選択肢があり、今はまだどの分野を専攻しようか迷っています。ですが、訓練では各分野の体験実習もあり、指導員も丁寧に指導してくれるので、決断の時期まではしっかり訓練に取り組み、自分の就職先を決めようと思います。



アプリケーション開発訓練では、最初の数ヶ月はプログラミングの基礎から学び始め、その後は練習課題を取り組むことで、気づいた時には簡単なプログラミング開発能力が身につきます。2年次には自分の習得したいプログラム言語で開発訓練を行うので、日々充実した訓練が受講できています。